

国際ロータリー 第2780地区

ガバナー月信

2024年2月号 No.8

2023-2024年度ガバナー 田島 敏久



世界に希望を生み出そう

RID2780地区テーマ

若者と希望:MENTAL HEALTHで和の世界を生み出そう

Rotary



厚木RC END POLIO 募金活動



座間RC ご祈祷&賀詞交歓会



大和中RC 松風園の子どもたち・ご家族と共に映画鑑賞会



大和RC 国際奉仕・姉妹友好クラブ行事



厚木中RC 米山記念館



大和田園RC 第1回家族会(うかい亭24)



厚木県央RC 友好クラブ山回県央RC



海老名RC えびな健康マラソン



海老名樺RC 海老名大樺再生プロジェクト



本厚木RC 和風

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2780

2023-2024



クラブ会長・幹事の皆様、 そしてクラブ会員の皆様へ

国際ロータリー第2780地区
2023～24年度ガバナー

田島敏久

(相模原西RC)



『平和構築と紛争予防月間に当たり一言』

我々 ROTARIANは、政治、宗教、人種問題について触れることがタブーです。2019年12月より中国・武漢 VIRUS 研究所より発生した COVID-19 による PANDEMICは記憶に新しいできごとでした。日本において、やっと2023年5月、感染症分類が5分類に戻されました。ところが、2022年2月24日 RUSSIA軍隊が突然に UKRAINA 侵攻、全人口の44分の1の UKRAINA 国民が防衛にあたっています。戦争難民は、POLANDとその周辺に500～600万人と言われ、日本に500人前後避難、来日してるとのこと。RUSSIAの消耗戦略論にはまっていますが、UKRAINAの勝利を願うばかりです。さて、2023年10月7日に PALESTINE HAMASの武装勢力が突然3000～5000発のROCKETを ISRAELに打ち込み、人質500人捕虜とされた。

さて、紛争予防について、紛争や対立の原因を探りましょう。「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に、平和の砦を築く必要がある。」武力紛争は人災であり、どれだけ大きな武力紛争であっても、その原因の根底は 個人の心の中にある、更に解決策も個人の心により見出されるものである。個人levelであれ、国家levelであっても、資源、領土、土地問題、不公平、価値観、宗教、嫉妬、私利、誤解、理不尽な要求、秘密主義、構造的におなじような原因で、武力紛争や暴力的な対立が多く見られます。その為、紛争予防の為に、人々に平和文化を定着する必要が重要であります。

☆紛争や内戦の様々な原因：

*紛争・争いごと、全体を言う。

内戦・国内での争いごとを言います。

- ①資源争奪戦
- ②民族同士の対立：宗教、歴史の違い。～民族紛争
- ③異なる宗教「宗教戦争」
- ④土地の奪い合い「国境紛争」発展途上国でしばしば見られます。
- ⑤独裁政権への反対による争いごと。

CF：戦争は国家間の軍事力を用いた争いごと。

☆紛争や内戦による悪影響

- ①住む場所消失～難民となる。
 - ②教育が受けられない。
- CF：南Soudan72%子供、初等教育受けられず。
- ③子供兵士として戦う。～子供兵士
その理由2点
 1. 貧困の為に最低限の衣食住を求めて兵士になる。

2. 大人が子供を町で誘拐し無理やり、兵士にする。
- ④ALCOHOLや麻薬で洗脳教育～家族や人を殺すことの抵抗感を焼失。
- ⑤女性の場合は性的な虐待を受けることがあります。
- ⑥作物を育てる場所消失する～食糧危機～飢餓生ずる。

☆紛争予防は可能性があるか？

SPHEREPROJECT：人道支援に対する最低基準、1997年国際赤十字等作成。：人道支援活動を行うNGOや国際機関のボランティア活動をいう。

*「災害や紛争の被災者には 尊厳ある生活を営む権利があり援助を受ける権利がある」また「災害や紛争による苦痛を軽減するために実行可能なあらゆる手段が尽くされるべきである」この2つの権利、理念に基づいて活動しています。

*SPHEREPROJECT基準：人間存続の為の4つの要素があります。

- ①給水、衛生、衛生管理促進
- ②食糧の確保、栄養の確保
- ③シエルター、居留地、非食糧物質確保
- ④保健活動

以上4つの要素は人間存続の為、重要な項目である。人間が紛争や災害時に脆弱な立場にいる者への支援、支援対象者が平等に、かつ、公平な支援が受けられるように 配慮されています。

☆1905年2月23日：PAUL HARRISは貧困、劣悪な環境のCHICAGOで仲間たち他3人と世界初となる奉仕CLUB【ROTARY】を創始した。

1917年ARCH KRUMPH基金設立提案【世界で何か 良いことしよう】：ATLANTA ROTARY 国際大会にて。

1928年ROTARY財団の誕生：初代管理委員任命された。

*ROTARY財団の優先項目と目標

2018年7月1日～2021年6月30日迄優先項目採択
☆地区補助金、とGLOBAL補助金を活用して、7つの重点分野に於けるROTARYの奉仕活動の持続可能性を高めるように指示。

以上より、我々ROTARIANは、特に、財団の7つの重点分野において【平和構築と紛争予防】の分野で活躍している。

- ①紛争予防と仲裁に関するLEADERの研修。
- ②紛争地域に於ける平和構築の支援。
- ③平和と紛争予防/紛争予防に関連した仕事で活躍する事を目指す専門職業人の奨学金の支援をする。



新会員の集い開催

地区クラブ管理運営委員会

新会員のつどい実行委員長 **水嶋 聡**

(茅ヶ崎RC)



皆様、こんにちは！

日頃より地区の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2023年12月3日(日)に藤沢ミナパークにおいて新会員の集いを開催いたしました。総勢80名を超える皆様と田島ガバナー、佐々木ガバナーエレクト、松下ガバナーノミニーをはじめ、AGの皆様や多くの地区委員長、地区役員の方々にご参加頂きました。

冒頭、田島ガバナーより「クラブを超えて仲間になる絶好の機会です！」と新会員の皆様にエールが贈られ開会致しました。

今回の新会員の集いは、クラブ管理運営委員会の担当事業として行いました。入会から3年未満のロータリアンに対し、改めて、ロータリー活動、社会奉仕、ロータリアンで有るべき意義を共に考え、素晴らしさを分かち合う為に、考え、理解し、話し合う事と、親睦を通して他クラブの皆様との交流や、ご友人作りを通して、各クラブの会員維持に繋げつつ、より良い奉仕活動の発信者として、ロータリー活動を楽しんでいただく事を目的に開催いたしました。

まず初めに、ロータリーを知って頂くために、長年内外で活躍されています新井今日子さん(鎌倉RC)に「ロータリーとは…」をテーマにご講演を頂きロータリー活動の歴史を教えてくださいました。

その後、株式会社OPREL田原道子様にてテーブルディスカッションをご指導して頂きました。カフェでくつろいでいるようなリラックスした雰囲気のもと行われる会議(ワールドカフェ)を開催し、気持ちにゆとりを持って話し合いができ、一体感を持った対話ができメンバーの組み合わせを

変えながら小グループでの話し合いを繰り返すことで、あたかも参加者全員で話し合っているような効果が得られました。

また、懇親会では、一人でも多くの、ご友人作りができる場となるよう、徳永委員に海と環境をテーマに熱く語って頂きました。閉会前にアンケートを実施し感想をお尋ねしたところ、9割の皆様が楽しんで頂けたようでした。

ロータリークラブへご入会頂きました皆様は、ロータリーでは3年未満の新会員さんですが、個々の皆様は、社会における地位や、人生経験が多く、成功者としての方々の集まりです。共に経験や考えを共通する事で、より良いロータリーライフに繋がれると思います。楽しくなければ続きませんよね！これからも、共に歩める仲間達と奉仕活動が出来る時間作り、やりがいと、ワクワクを共有し、ロータリアンとして歩んで参りましょう。

新会員の皆様の今後のお仕事や、ロータリー活動に少しでもお役に立てる内容であったのであれば嬉しい限りです。

ありがとうございました！



CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
新会員の集い開催	3
ローターアクト地区大会	4

2023～24年度 インターアクトクラブ台湾研修	5
第6グループ・クラブ紹介	6
GETS協議会報告	11
新会員紹介 他	13



ローターアクト地区大会

R A地区代表 小用 悠太
(横須賀RAC)



2023年12月10日(日)「2023-24年度国際ロータリー第2780地区第35回ローターアクト地区大会」を開催しました。

今年度の地区ローターアクト代表は小用悠太氏(横須賀RAC)、地区大会実行委員長は竹岡力氏(横須賀RAC)です。

大会テーマは自分を中心としてプラスの効果を波のように周りへ広げていこうという意味を込め、「波紋」としました。また、横須賀という海をすぐそばに感じられる土地柄という点においても、今回のテーマ設定の経緯があります。

メルキュール横須賀にて式典を開催し、メインプログラムでは軍港めぐりと横須賀の街のウォークラリーを行いました。当日は天気にも恵まれ、12月の上旬とは思えない温かい気温で、ウォークラリー日和となりました。また夕暮れ時に軍港めぐりへ参加した方の中には、風が心地よく船で少し寝てしまったなどの声もありました。

ウォークラリーには横須賀の主要なポイントへ

実際に足を運び、ミッションをこなしながら写真を撮って交流するという内容のものを行いました。

地区内だけでなく他地区からも多数ご参加いただき、普段感じることのできない横須賀を満喫してもらえたかと思います。

また、参加いただいた皆様には記念品として横須賀海軍カレーをご用意させていただきました。横須賀は自然だけでなくグルメも充実しており、ヨコスカネイバーバーガーや横須賀海軍カレーなど、魅力的なものがたくさんあります。今回の大会テーマの波紋を広げる一つの要素として、食の波紋を広げようとのアイデアのもと、ご自宅へ帰っても横須賀の食を感じていただけるように、横須賀海軍カレーをお渡ししました。

大会参加者からは「横須賀の街を感じることができる良い大会だった」「初めて他地区の地区大会に参加したが、とても楽しむことができ参加してよかった」などの声をもらう事ができました。





2023～24年度 インターアクトクラブ台湾研修

インターアクト委員会

副委員長 榊原正博

(鎌倉RC)



先日、コロナの影響で止まっていた、インターアクトクラブ台湾研修が5年ぶりに再開しました。この研修は、台湾3481地区インターアクトクラブとの国際親善交流を通じ、国際理解の推進やリーダーシップの育成を図る事業になります。

佐藤祐一郎PGを団長に、松下孝ガバナーノミニ、中込仁志地区青少年奉仕委員長をはじめ、地区インターアクト委員長、副委員長の6名のロータリアンが参加しました。

インターアクターは、三浦学苑高等学校、平塚学園高等学校、立花学園高等学校、逗子開成高等学校、光明学園相模原高等学校、県立麻溝台高等学校、北鎌倉女子学園高等学校から、20名の高校生と、北鎌倉女子学園高等学校より、廣井修教頭先生、古山絵里先生の2名の先生が参加しました。

初日は、羽田空港より台北松山空港へ移動、松山空港では3781地区のインターアクター、ロータリアンの方々のお出迎えをいただきました。

その後、松山工農高校へ移動し、台湾の各インターアクトクラブ200名以上が参加するクリスマスパーティーに参加しました。各クラブが歌やダンス、演劇などを披露する中、日本側も9月から会場と一緒に踊れるよう工夫し、練習を重ねたダンスを披露し、会場を盛り上げていました。



2日目は、台湾総統府を見学し、日本と台湾の歴史について学びました。台湾側の説明は、日本では聞けない話も多く、国際社会から見る日本と台湾の深い繋がりについて学べたと思います。

その後景美女子高校へ訪問し、学校交流となりました。昼食は学食を利用し、景美女子の学生と一緒に昼食を取りました。その後、綱引きの世界チャンピオンとの綱引きや、パイナップルケーキ作りなどを、景美女子の学生達と一緒に体験しましたが、台湾語、英語、日本語を駆使しながら、お互いに一生懸命コミュニケーションをとりつつ、とても楽しそうに交流を行っていたように思えます。

3日目午前中は、ロータリアンの企業である阿黙蛋糕（Amoケーキ）工場見学へ。周正訓社長による日本企業から学んだ企業理念の説明を受けた後、製造ラインや開発現場、事務所を見学させて頂きました。

午後は原住民族であるタイヤル族が多く住む、烏来中学に伺い、小学生の子どもたちとタイヤル族の歌や、ダンスで交流を行い、その後崇光高校へ移動し、こちらもダンスを通じた交流をおこないました。



夕食は、開平餐飲学校の学生が調理や給仕を行うレストランで、3481地区のロータリアン、インターアクトクラブの学生とフェアウェルパーティーがあり、日本の参加者による今回の研修の報告などが行われました。翌日忠烈祠、龍山寺などを見学した後、羽田への帰路につきました。

この4日間、インターアクター達は多くの台湾のインターアクター達とそれぞれInstagramやLINE等の交換をし、交流の絆を繋ぎ、今でもコミュニ

ケーションを取っているそうです。今の時代、機会さえあれば、国を超えた交流が簡単に作れることに、自分の時代遅れ感を感じますが、それより言葉が通じなくてもコミュニケーションを取り、新しい人の繋がりをいとも簡単に作れる高校生達の柔軟さ、溶け込む力というものを、強く感じ、若者のこの様な力こそが、真の国際親善の柱となることを実感した4日間でした。





クラブ紹介

第6グループ

厚木ロータリークラブ

会長 市川 信也



厚木ロータリークラブは、昭和36年3月に設立され創立63年を迎えました。

毎月第1例会においては、「厚木ロータリークラブの歌」を唱和して例会が始まります。また「花のある例会」として会長や各会員が花を持参し、例会場に活けて例会を行なうことで、華やかな雰囲気なのも厚木ロータリークラブの特徴です。

本年度の会長方針は、「原点回帰と未来の創造」です。毎年新会員の入会があるものの、年々会員数が減少している現状において、会員数50名を目標としております。新たな仲間が増えることこそ「未来の創造」に繋がると考えております。原点回帰として、コロナ前の座席レイアウトに戻し、職業や年齢に関係なく会話する中で、会員相互の絆を深めてもらいたいと願っております。



職業奉仕活動の一環として、株式会社湘南ベルマーレ様の事業や地域活動についてお話を聞き、地域に密着した様々な取組みは、厚木ロータリークラブとしても大変勉強になる機会となりました。

厚木ロータリーの歌
 丹沢山の奥処より
 清き水は相模の水系
 水にうらほふ泉
 理想を高く掲げつつ
 馳せわたれらの厚木ロータリー

大賞 志那 作詞
 道大 作曲

常は眞実公平に
 社会奉仕を旨として
 世界の平和希ひつつ
 好意と有情あためて
 集ふわたれらの厚木ロータリー

平成五年六月八日発表
 大賞 志那 自筆



大和ロータリークラブ

会長 森川 良三



イベント実施動機について、姉妹友好関係にある台北七星ロータリークラブが笑顔いっぱいに来てくれました。出来るだけのことをしてあげようと、ウェルカムパーティーを行いました。盛大に・・・。

それから、やまと児童絵画コンクールを主催しました。我々のロータリアンの地域貢献の一つとして、子供たちの健全な育成や、情操教育の一環とするなどという大それた目的ではありません。一年生には一年生の、六年生には六年生、その時にしか描けない絵ってあると思います。

10年後、20年後、子供たちにとって、この時に描いた絵が財産となり、良き思い出になって欲しい・・・。ただそれだけでも価値のある事ではないでしょうか、いい事しました。



台北七星RC合同例会



やまと児童絵画コンクール



座間ロータリークラブ

会長 佐藤 京子



50年以上の歴史を有する座間クラブには、会員一人一人が自ら考え行動を起こし様々な困難を乗り越えてきた歴史と伝統・文化があります。そしてそれは、私たちの誇りでもございます。

勿論この歴史はクラブや会員だけではなく、行政や地域団体など多くのご協力・ご尽力の賜物であり、この素晴らしい歴史や伝統・文化を未来へと継承し続けていく事こそが、我々の最大の使命だと感じております。

座間クラブの会員の半数以上が、活動歴5年未満の経験の浅い若々しいメンバーではありますが、今年度は「承前啓吾～受け継いだもので未来を切り開こう～」をテーマに、ロータリーについてよく学び、活動の趣旨を会員一人一人がより深く理解しながら、クラブ全体の力として、更なる活性化を図り奉仕活動・継続事業などに取り組んでいます。今後の座間クラブにもご注目下さい。



Xmas 家族例会



End polio活動 世界からポリオをなくそうキャンペーン



奉仕事業例会 ふわふわスポーツランド

大和中ロータリークラブ

会長 野口 宏



大和中ロータリークラブは、本年で創立62年を迎えます。2023-24年度の会長ターゲットは「リスタート みんなで語ろう 夢のつづきを」です。コロナ渦で一時的に止まってしまった奉仕事業を、2つ再始動させることが出来ました。ひとつは、知的障がいを持つお子様とご家族を、貸し切りの映画鑑賞会に招待することです。貸し切りですので、周りを気にせずに映画を楽しんで頂けます。今後の家族レジャーにも自信を持たしたいと思います。もうひとつは「交通事故撲滅大作戦」です。スタントマンによるリアルな交通事故の再現、県警女性白バイ隊ホワイトエンジェルスによるデモ走行など、どんな方にも興味を抱いて頂けるような交通安全教室でした。

事業の他にも、メンバー全員にストーリーを語ってもらおうと、例会で3分間スピーチを実施しております。みんなしっかりと準備をし、楽しい有意義なストーリーを語って頂いております。次はどんなストーリーが聞けるのか毎回の例会が楽しみです。





クラブ紹介

第6グループ

厚木中ロータリークラブ

会長 小澤 俊 通



厚木中ロータリークラブは、1978年5月に創立し、46年の歴史があります。今年度は4名の会員が入会し、現在は25名の会員が所属しています。例会への出席率は、出席免除会員を除き毎回ほぼ100%であり、当クラブの誇るべき特長のひとつです。また、会員同士の団結力の強さも特長と言えます。米山記念館バスツアーや親睦ゴルフなど、様々な活動を通し、会員同士の親睦を深めています。



親睦ゴルフコンペ

会長方針は「地域と共に歩むロータリークラブ」を目指すことです。地域の様々な課題を拾い出し、解決へ向けて地域と共に歩むことによりロータリークラブの存在感を増し、その認知度は高まることを期待されます。

今年度は、当クラブがIMホストクラブを担います。会長方針の下、テーマを「共に生きる社会を目指して～発達障害を学ぼう～」とし、当クラブの団結力の強さを活かし、一人一人が開催の成功へ向け邁進しています。

大和田園ロータリークラブ

会長 樋田 修



大和田園ロータリークラブは昭和58年に創立し、今年で41年目を迎えます。会員数は26名と多くはありませんが、結束力（輪）が強く、例会出席率は前期平均90%以上になりました。

昨年度創立40周年記念事業として開催しました「大和田園ロータリーカップ」大和市近隣小学女子サッカー大会を本年度も引き続き3月23日に開催することが決定いたしました。大和シルフィードに協賛するホームゲームで優勝の副賞としてエスコートキッズが出来ます。また、毎年名知先生が活動されているミャンマー子どもクリニックへ、4月にミャンマーの現況報告の卓話と寄附を予定しております。

来年度ガバナーズクラブとなり、今年度より入念な準備を進めております。本年9月24日地区大会親睦ゴルフコンペを相模カンツリー倶楽部・10月19日地区大会第1日目レンブラントホテル海老名・20日地区大会第2日目大和市文化創造拠点シリウスにおいて各開催されます。残すところ8ヶ月弱となりました。第6グループ、そして近隣クラブの皆様にご多大なご協力を頂き、大きな輪となって準備を本格化していきたいと思っております。地区の皆様のご協力をお願い致します。



22-23年度-卓話-寄付金贈呈



ミャンマーファミリークリニック



22-23年度-協賛-大和シルフィード



22-23年度-ポリオ募金活動



海老名ロータリークラブ

会長 葛野 耕 司



海老名ロータリークラブでは、地域社会への貢献と国際交流の促進に力を注いでいます。その中でも、注目すべき事業の一つが「えびな健康マラソン大会」です。この大会は毎年開催され、市内外から初心者から上級者まで、誰もが楽しめるイベントとして、多くのランナーが集まり、健康促進と親睦を図っています。海老名ロータリークラブでは、毎年、ランナー向けの飲料水の提供や、当日の運営スタッフとして大会に協賛しています。

もう一つの重要な事業は、台湾の姉妹クラブ「華安ロータリークラブ」への訪問です。海老名ロータリークラブでは、お互いのクラブをほぼ毎年訪れており、両クラブのメンバーが文化や友情を深めています。この交流を通じて、両国の国際的な理解と平和の推進に寄与し、グローバルな視野を広げる一翼を担っています。

これらの事業を通じて海老名ロータリークラブは、地域社会と国際社会において、継続的で有益な影響を与えています。地域との結びつきと国際的な協力を通して、より良い未来の構築に向けて積極的に活動しています。



華安RC訪問

海老名樺ロータリークラブ

会長 辻 啓 明



今年で設立28年の当クラブでは、2年前から未来ビジョン会議を立ち上げ、中長期的なクラブ方針などを話し合う場を設けています。これにより2年後に控えた30周年や数年以内に有るIM、新たな奉仕活動などについて意見交換を行い、単年度の点では無く線で繋がる活動が出来つつあります。クラブ内の親睦活動の一つとして野球、ゴルフ、軽音楽、ウクレレ、ホルモン等の同好会があり活動も盛んに行われています。

奉仕活動では、海老名の大樺（樹齢580年）の清掃活動。昨年は地区補助金を利用した樺再生プロジェクトを実施、残念ながら枝から根が出ず再生とはなりませんでしたが、その枝をキーホルダーにし小学校や地域の方に配り大樺の現状を知ってもらうことが出来たと思います。

青少年育成事業では、2016年まで海老名市少年野球大会「海老名樺ロータリークラブ杯」、2017年より海老名市少年少女ミニバスケットボール大会「海老名樺ロータリークラブカップ」を開催し、子供たちの活躍の場をサポートさせていただいています。また、他クラブや他団体組織との連携を視野に活動を行っています。



厚木県央ロータリークラブ

会長 松本 豊



我がクラブの特徴として、会員全てが地元企業に所属しております。少年野球教室や柔道大会への協賛などの青少年奉仕、ラオスの小児病院支援の国際奉仕、地元の企業人としての職業奉仕並びに社会奉仕。更に今年度は地区補助金の特別応募事業として、国立成育医療研究センターもみじの家と共催で「第1回ウルトラユニバーサル野球大会」を開催。近年RIが唱えるDEIや7つの重点目標を活動の柱として実践し、会員はチャーターメンバーが7名、年代も30代から80代までバランスのとれた会員構成のクラブです。

今年度はアフターコロナの年度として、ここ数年に比べ例会も増やし、厚木4クラブ合同での厚木鮎祭りでのEND POLIOの募金活動を4年振りに再開。新たな奉仕活動として、昨年度から始めたジュニアスキー教室への支援に続き、厚木市剣道大会への協賛も計画しております。また11月のチャーターナイト記念例会では、昨年度共に創立25周年を迎え友好クラブを締結した、全国で我がクラブと2つしかない「県央」の名称を持つ、山口県央ロータリークラブ様より4名の会員をお迎えし、楽しい一時と今後の友好を誓い合いました。本年度も会長方針「持続可能な奉仕活動の実践を」を基に、数多くの奉仕活動に積極的に取り組み、更なる会員増強を目指し今後も活力あるクラブとしての特徴を拡げてまいります。



ウルトラユニバーサル野球大会



献血活動

本厚木ロータリークラブ

会長 小島 富司



少年たちの和風力作ぞろい

「奉仕と親睦と学びの場を創り出そう！」

私たちは、「世界に希望を生み出そう」というRI会長からのメッセージをいただき、クラブのモットーである「明るく・楽しく・元気なクラブ」創りを持続し、そして今年度は、三つの重点目標を掲げて取り組んでまいりました。①青少年奉仕活動を充実させよう！②友好クラブとの交流を深めよう！③奉仕と親睦と学びの場を創ろう！です。その中から、特に、ここでご報告申し上げます内容は、地区補助金事業「和風、創って遊ぼう！」という奉仕活動です。

その一つ目は、本クラブの継続支援している市内少年野球チームの6年生（春からは中学生となる）50名程を対象とした手づくり体験講座でした。（市内小学校体育館にて12月中旬実施）子どもたちは皆、干支「辰・龍」の絵をイメージしたり、チーム名や拘る文字を大書しながら楽しいひと時を共有し、豊かな発想と見事な出来栄の作品が仕上がりました。

二つ目は、市内「七沢学園」（県リハビリ併設）の生徒さんたちの作業時間にお邪魔し、ほぼ一日日程にて和風を創り上げ校庭で試し上げを楽しむことができました。

何れも本クラブ内にて、奉仕活動プロジェクト委員会を中心とした実行組織（少人数の「風師」なる指導者）を起ち上げての取り組みとなりました。



豊かな発想から色と形が

GETS協議会報告

ガバナーエレクト 佐々木 辰郎
(大和田園RC)

GETSの行われるオーランドに思いを巡らしていた初春、その全てを消す去るような能登の大地震が発生し、翌日には想像すら出来なかった羽田空港での日航機衝突事故と私の年度に暗雲立ち込める様相の連続に、研修も儘ならないのではと思い電話を入れたところ答えは何の動揺すらなく、スケジュール通りですとの返答に、途中での荷作りを急ぎ1月6日の朝を迎えました。

ガバナー研修の為の海外旅行、通常であればウキウキとするところであるが、私も妻も何をするのかも理解できず右往左往の連続、どうにか羽田空港からヒューストン空港へ到着、一番感じた事は到着したヒューストン空港の大きさであった。その後国内線にてオーランドに到着した。そこは我々の目には入らなかったが、ディズニー一色の街であった。

日本を1月6日に出発し、約14時間半にわたる長旅であった。その日は空港近くのホテルにて宿泊、1月7日改めて研修の行われるローゼンシングルクリークホテルに到着し、登録終了後、その日は歓迎レセプションが行われ、世界の同期ガバナーと初めての顔合わせとなった。

1月8日朝7時から朝食、そして9時より第1回目の本会議の開催となった。10時45分より1回目の分科会が行われ、昼食後次年度RI会長との記念撮影、14時15分より第2回目の本会議、15時45分よりエレクトの分科会が行われ、17時30分より夕食で、タイトな1日目の研修を終えた。

1月9日、2日目も朝食後9時より第3回目の本会議、そして10時30分よりガバナーエレクトワークショップが行われ、昼食後第4回本会議、15時45分より分科会、そして18時30分より夕食とダンスパーティーと次から次へとスケジュールの連続であった。



国際協議会

1月10日、3日目も同様に朝食後、第5回本会議、エレクト分科会、午後も第6回本会議後エレクト分科会、そしてその日の夜は各国の文化を紹介し合う文化交流会が盛大に行われた。その後レセプション、ディナーパーティーが行われて終了となった。

1月11日は最終日、同様に9時より第7回本会議、その後分科会、昼食後エレクト分科会が2回行われ、18時30分より閉会セッションと晩餐会が行われてすべてのスケジュールが終了した。

1月12日はホテルをチェックアウトし一路帰国となった。1月13日の15時30分に羽田に無事帰国、ハードな旅が終了となった。

今回の研修の2日目にステファニー・アーチック次年度RI会長が、2024～25年度のRIテーマは「ロータリーのマジック」であると発表し、多くの人々を救うロータリーの力を認識して、さらにその力を広げようと呼びかけました。

そして『ロータリーは平和を優先し、継続と変化のバランスを取り、次世代のメンバーをオープンな心で迎えよう！』と話されました。

以下に、本協議会でのガバナーエレクト分科会のセッション内容を記載いたします。

1. 行動計画を前進させる	ラーニングファシリテーター	安間 みち子様
2. クラブでの体験	同上	スレシュ・ハリ様
3. ロータリーの価値を共有する	同上	安間 みち子様
4. みんなが帰属意識を持つ	同上	中谷 研一様
5. 世界でよいことをしよう	同上	中川 基成様
6. 奉仕のインパクト	同上	ピアナイルソー様
7. CDSからの地域支援	同上	寺島 加奈様
8. 変化を導く	同上	中谷 研一様
9. 次年度に向けて	同上	中川 基成様

ご指導有難う御座いました。





2024-25年度 国際ロータリー会長テーマ発表
「ロータリーのマジック」 《英語：The Magic of Rotary》



新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



やました ひろし
山下 洋
①横須賀南西
②2023. 09. 25
③介護・ビルオーナー
④小林 進



かとう みきひろ
加藤 幹広
①寒川
②2023. 10. 23
③地方銀行
④磯川 浩



いしだ けん
石田 健
①ふじさわ湘南
②2023. 11. 20
③ダクト工
④横田 晃一



やの とおる
矢野 徹
①箱根
②2023. 12. 12
③酒類製造販売
④勝俣 智行、
中村 靖



やまざき くにひろ
山崎 国博
①箱根
②2023. 12. 12
③リゾートホテル
④勝俣 昭彦、
小澤 修二



たかはし しげひさ
高橋 茂久
①平塚
②2023. 12. 14
③税理士業
④白石 慎太郎、
今村 佳広



つるやま りょう
鶴山 亮
①横須賀北
②2024. 01. 09
③仏教
④前川 永久、
平林 祐樹



さとう よしたか
佐藤 好崇
①綾瀬
②2024. 01. 23
③産業廃棄物収集運搬業
④佐藤 涼栄、
古郡 孔文



あさの なおき
浅野 直樹
①伊勢原
②2024. 01. 24
③宿泊業
④飯田 隆三

横須賀西ロータリークラブ
事務局移転のお知らせ

2023年12月末より事務所を移転いたしました。
(住所のみ変更)

新住所：〒239-0835

横須賀市佐原 1 丁目 5 番地16号

訃報 ご冥福をお祈り致します



たかはし まさかつ
高橋 政勝 (大和中)

2023年12月22日逝去 (享年86歳)

1980年10月30日 入会

1995~96年度 クラブ会長

メジャードナー/ベネファクター

マルチプルポールハリスフェロー/

第5回米山功労者マルチプル

